

会社情報 (2018年6月30日現在)

会社名	株式会社ソディック	資本金	207億8,525万6,958円
所在地	本社 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 TEL:045-942-3111(代表)	代表者	古川 健一
設立	昭和51年8月3日	従業員数	743人(連結3,714人)
		連結子会社	22社
		持分法適用の関連会社	1社

役員

取締役名誉会長	ふるかわ としひこ 古川 利彦	社外取締役	ふるた かつひさ 古田 勝久※
代表取締役会長	かねこ ゆうじ 金子 雄二	社外取締役	いなさき いちろう 稲崎 一郎※
代表取締役社長	ふるかわ けんいち 古川 健一	社外取締役	くどう かずなお 工藤 和直※
代表取締役副社長	たかぎ けいすけ 高木 圭介	常勤監査役	ほさか あきお 保坂 昭夫
専務取締役(上席執行役員)	まつい たかし 松井 孝	常勤監査役	わたぬま ゆういち 渡貫 雄一
常務取締役(上席執行役員)	まえじま ひろふみ 前島 裕史	監査役	ながしま たかし 長嶋 隆※
常務取締役(上席執行役員)	つかもと ひでき 塚本 英樹	監査役	しもやま かずひと 下山 和人
常務取締役(上席執行役員)	うめもと けいぞう 梅本 慶三	監査役	おくやま とみお 奥山 富夫
社外取締役	くりはら としあき 栗原 俊明※		

※東京証券取引所の定める独立役員であります。

ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を
開示しています。是非ご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

コーポレートサイト



IRサイト



Sodick

株式会社 ソディック

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111



Sodick Times

2018年12月期(第43期)中間報告書
2018年1月1日～2018年6月30日

Special
Feature

革新的な製品・技術の開発に取り組む
本社・研究開発棟 完成インタビュー

株式会社 ソディック

東証1部:6143



代表取締役社長
古川 健一

0.1 2018年12月期第2四半期の業績について教えてください。

中国での放電加工機の販売が大幅に増加し業績を牽引、売上高は414億16百万円と概ね期初計画通りに推移し、利益率も高水準を確保しました。

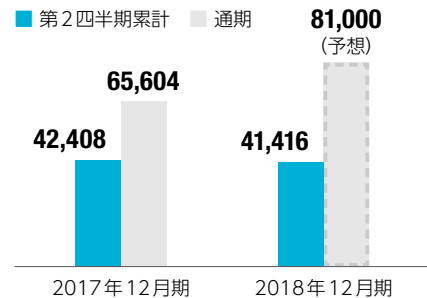
国内では、自動車、半導体関連からの需要が堅調に推移しました。米国では、自動車や航空宇宙関連の需要にやや慎重さが見られました。欧州では、トルコは依然として停滞感が見られましたが、自動車関連を中心にドイツ、イタリア、イギリスなどが牽引し総じて好調を維持しました。中国では、引き続き、ものづくりの高度化及び自動化対応等の影響や政府の補助金政策も後押しとなり、販売が好調に推移しました。アジア地域においてはスマートフォン関連に一服感が見られました。

セグメント別では、工作機械事業は当社の最大市場である中国において、春節休暇明け以降、放電加工機の販売台数が大幅に増加し、売上高、利益ともに堅調に推移しました。産業機械事業は、日本、北米においては自動車関連、医療機器関連を中心に堅調な需要が継続しましたが、中国及びアジアでスマートフォン関連の需要は一服感があり、販売は伸び悩みました。食品機械事業においては、高品質な調理機の製造設備需要が引き続き堅調に推移したほか、包装米飯製造装置の需要は国内及びアジアで継続して増加しました。

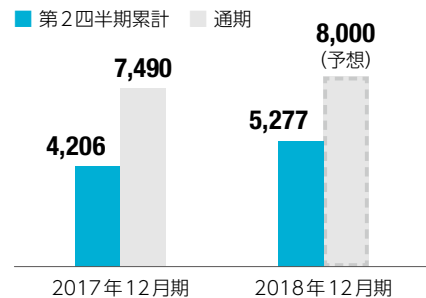
当第2四半期の業績につきましては、売上高414億16百万円と概ね期初計画通りに推移しました。利益面では、放電加工機の販売台数が増加したこと、生産性の向上等により、営業利益は52億77百万円、営業利益率は12.7%と高水準で推移しました。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

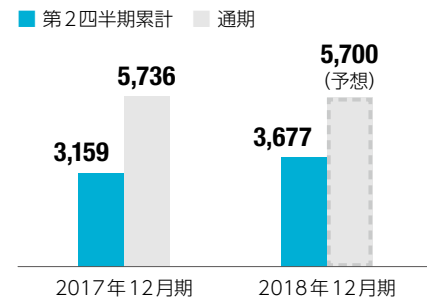
売上高



営業利益

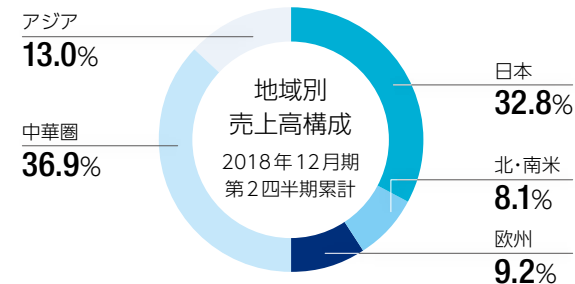


親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



※2017年12月期は事業年度変更に伴い、9か月の変則決算となります。

地域別の売上高構成



2018年12月期 第2四半期の連結対象期間

	2017年12月期			2018年12月期				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
旧3月決算会社	1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q	4Q
12月決算会社	6か月				6か月			
	9か月				6か月			

※12月決算会社は、中国の連結子会社7社です。

Q.2 取り組みと成果について教えてください。

需要増加に対応するため、国内外において生産体制、営業体制、開発体制を強化しています。

足元の需要増加に対応するため生産体制の強化を進めております。海外では、タイの第2工場を増設し増産体制を構築しております。国内では、加賀事業所(石川県)において市場の変化に柔軟に対応できる生産体制を構築するため、放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ、射出成形機など、多種多様な製品の生産が可能なマルチファクトリーの建設を進めております。また、北米及び上海での営業拠点を整備し、営業体制を強化しました。横浜本社では、5月中旬に研究開発棟の建設工事が完了し、金属3Dプリンタ関連の研究開発、新電源、次世代CNC等の要素技術の開発を強化しております。

Q.3 通期業績の見通しについて教えてください。

通期業績予想は、売上高810億円、営業利益80億円を計画しております。

米国、中国の通商政策の影響などの懸念材料もあり先行きに不透明感が見られる中で、第2四半期の業績等を踏まえ、通期業績予想は据え置きいたしました。売上高は810億円、営業利益は80億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

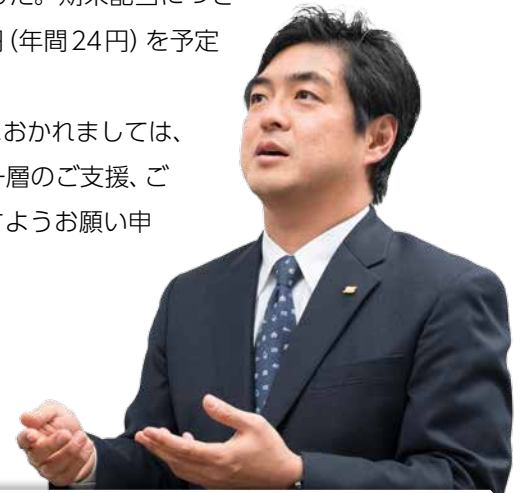
	第2四半期連結業績	通期業績予想	進捗率
売上高	41,416	81,000	51.1%
営業利益	5,277	8,000	66.0%
経常利益	5,185	8,000	64.8%
当期利益	3,677	5,700	64.5%

下期については、9月にアメリカのシカゴで開催予定の世界最大級の工作機械展示会IMTS2018に出展するほか、11月には東京ビッグサイトで開催予定の日本最大級の工作機械展示会JIMTOFに出展し、積極的な営業活動を展開してまいります。JIMTOFでは、金属3Dプリンタのエントリーモデルとして「LPM325」を出展します。「LPM325」は、金属3D造形と二次加工用の基準面だけを加工する機能に限定することで造形速度を大幅に向上させるなど、多様化する金属3Dプリンタへの要求に対応するモデルとなっています。その他にも、放電加工機、マシニングセンタ、射出成形機などの最新鋭機種を展示するほか、AIやIoT、自動化ニーズの高まりを踏まえ、次世代のものづくりをサポートする最新技術を展示する予定です。ご都合がございましたら当社ブースまでお越しいただければ幸いです。

Q.4 配当について教えてください。

当社は、DOE(株主資本配当率)2%以上を目標とした安定的かつ継続的な配当を実施するとの基本方針に基づき、当期の中間配当は1株につき12円とさせていただきます。期末配当につきましては、12円(年間24円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

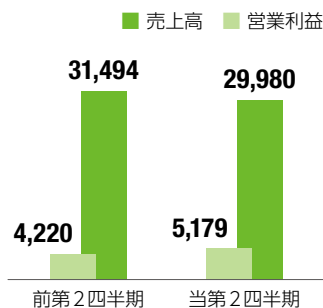


セグメント別の概況 (単位:百万円)

工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売

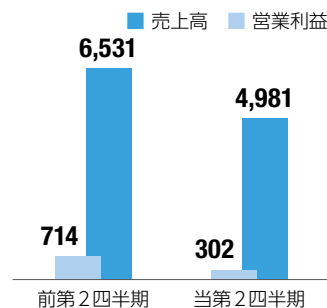
- 中国/自動車、半導体関連を中心に販売が大きく伸長
- 米国/自動車関連で慎重さが見られる
- 日本/自動車、半導体関連で需要堅調
- 欧州/ドイツ、イタリア、イギリスを中心に自動車、航空宇宙関連の需要堅調
- アジア/自動車関連を中心に需要あり



産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売

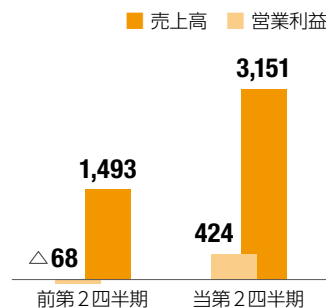
- 日本/自動車関連の需要堅調
- 北米/医療機器関連を中心に堅調な需要が継続
- 中国、アジア/スマートフォン関連の需要で一服感



食品機械事業

種製造プラント、製麺機等の食品機械及びその応用製品の開発・製造・販売

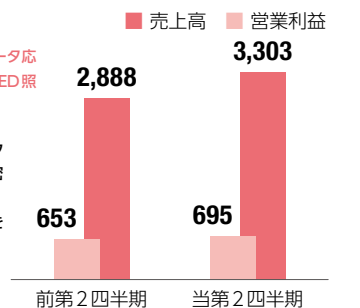
- 高品質な調理機の製造設備需要が引き続き堅調
- 包装米飯製造装置の需要は国内・アジアで継続して増加
- 受注・出荷は概ね計画通り
- 検収が遅れていた案件も第2四半期で計上。売上高もほぼ計画通り



その他事業

プラスチック成形品等の製造・販売、リニアモータ応用製品、セラミックス製品及びその制御機器、LED照明等の開発・製造・販売、当社製品等のリース

- 精密金型、精密成形事業では金属3Dプリンタで造形した金型と専用成形機を用いた高精度金型成形の開発に取り組み中
- セラミックスの販売が半導体製造装置向けを中心に好調に推移



※ 2017年12月期は事業年度変更に伴い、9か月の変則決算となります。

Special Feature

革新的な製品・技術の開発に取り組む

本社・研究開発棟 完成インタビュー

横浜本社に新たに完成した研究開発棟で製品・技術の開発に取り組む豊永竜生センター長と、今尾友祐さんに伺いました。

拠点情報

所在地 神奈川県横浜市
(本社/技術・研修センター敷地内)
延床面積 2,028㎡
施設概要 精密金属3Dプリンタ関連の研究開発、
新電源、新世代CNC等の新たな要素技術
の開発など



アドバンスト研究センター
豊永 竜生センター長

新研究開発棟に移動して数か月たちましたが、どのような印象をお持ちですか？

A. 今までは実験室、オフィスなど人員がバラバラに配置されていましたが、新研究開発棟では1フロアに集約されたことにより、コミュニケーションが活性化されたように思います。また、研究スペースには最新研究設備が順次導入される予定で、今後更に色々な研究開発テーマに取り組めるようになります。



当社グループのテクノロジーを結集することで、より効率的な研究開発・製品化を目指しています。

ソディック
広報キャラクター
「TF-1」
(ティーフワン)



新研究開発棟ではどのような研究開発を行っていますか？

A. アドバンスト研究センターでは、NC装置や各事業部のコアとなる要素技術の研究開発を行っています。ソディックでは、NC装置、リニアモータなど様々なキーコンポーネントを内製化してきましたが、金属3Dプリンタや半導体関連、IoTやAI(人工知能)など新たなコア技術を育てるべく研究開発を強化しています。次世代技術を生み出し、コスト削減や新製品に繋げていくことが私達の役割であると考えています。



今、取り組まれている研究テーマについて教えてください。

A. 金属3Dプリンタの制御装置を開発しています。ソディックには放電加工機の開発で培われた制御技術がありますので、応用して開発を行っています。金属3Dプリンタでは放電加工機にはない特殊な制御もあり、開発は難しいですが、やりがいを感じています。制御装置の開発は加賀事業所やSodick Americaとも連携して行っています。



アドバンスト研究センター
今尾 友祐

ソディックの強みはどのような点だと思いますか？

A. ソディックには、放電加工機、マシニングセンタ、射出成形機、NC装置、リニアモータ等、専門知識やコア技術を持ったスペシャリストが多くいます。様々なコア技術をカスタマイズし、融合することで、性能向上や新技術を生み出すことができる人材や環境が整っている点が強みであると感じています。



TOPICS & レポート

新製品開発や出展情報など、ソディックの新たな動きをご紹介します。



TOPICS 新製品

高速造形に対応 “金属3Dプリンタ” [LPM325] を開発

多様化する金属3Dプリンタへの要求に対応するため、“金属3Dプリンタ”の新製品 [LPM325] を開発し、2018年11月より販売を開始いたします。

[LPM325]は、金属粉末の3D造形加工と、造形した加工物への基準面加工を1台の機械で実施できる、金属3Dプリンタのエントリーモデルです。機能を限定することで、造形速度の大幅な向上に成功しました。

[LPM325]は、2018年11月1日から6日まで開催される「第29回日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2018)」への出展を予定しております。



[LPM325]

TOPICS 展示会

国内最大の金型加工技術の展示会 「INTERMOLD2018 (第29回金型加工技術展) / 金型展 2018」に出展

2018年4月18日から4日間、インテックス大阪で開催された「INTERMOLD2018 (第29回金型加工技術展) / 金型展 2018」に出展いたしました。

当社ブースでは、「先を見据えたモノづくりへ」を

テーマに、最新鋭の工作機械・射出成形機による高精度加工事例や成形実演など最先端技術を展示。来場された多くのお客様に、先進テクノロジーを極めたものづくりのレベルアップを提案し、活況を呈しました。



当社ブース



ワイヤ放電加工機 [AL400G]

業績・財務ハイライト

当第2四半期の業績について

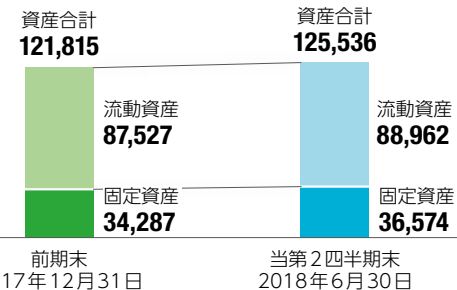
中国での放電加工機の販売が大幅に増加し、業績をけん引。販売台数増加及び生産性向上により利益率も高水準を確保。

売上高 **414.16** 億 百万円

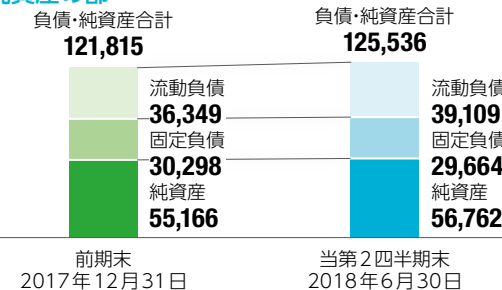
営業利益 **52.77** 億 百万円

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

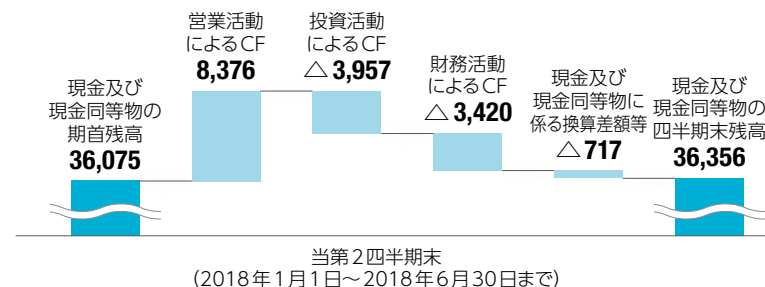
資産の部



負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー (CF) 計算書の概要 (単位:百万円)



POINT B/S:受注台数の増加に伴い、棚卸資産が増加したこと、加賀事業所のマルチファクトリー、横浜本社の新研究開発棟、タイ工場第2工場の増設などの有形固定資産の取得により、固定資産は前期末比で大きく増加。ネット有利子負債が17億53百万円まで減少し、財務体質が改善。

POINT 営業CFは、四半期純利益が大幅に増加したこと、受注増加に伴い仕入債務、前受金の増加等により83億76百万円のプラス。投資CFは、有形固定資産の取得等により、39億57百万円のマイナス。財務CFは、長期借入金の返済等により34億20百万円のマイナスとなり、現金及び現金同等物の四半期末残高は363億56百万円となりました(前期末比+2億81百万円)。

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索





事業部訪問：営業業務部 海外業務課

ソディックのグローバル展開を強力にサポート

女性が多く
活躍しています！



ソディックを支える各事業部での業務を紹介します！初回は海外業務課です。

Q 海外業務の仕事について教えてください。

A 海外販社から注文書(PO)を受け取り、海外の工場へ発注する業務を担当しています。PO受領前に機械の仕様の問い合わせや、お客様のデータや使用目的(軍事転用されないか)などの情報を収集し、輸出許可を得るための顧客審査も行います。

Q 仕事でのやりがいとは？

A 世界中の方とやり取りができる点です。大宮営業所、本社の総務を経て現在の海外業務課へ異動しましたが、埼玉近辺のエリアから、会社全体、世界中へと範囲が広がって仕事のチャンスも広がりました。これまでの経験があったからこそ全体感をもって業務を行っています。

Q 世界中の人とやり取りをする中で苦労している点は？

A 海外とは時差がありますが、販社からの質問にはできるだけ早く回答する必要があるのでタイムマネジメントをしっかりと行い、遅れが出ないように調整しながら進めています。また、船積みや貿易の知識があまりない現地の担当者には、通常より丁寧にわかりやすく説明をするよう心がけています。

Q 目標・キャリアプランは？

A 今までは工作機械の受注のみを担当していましたが、部内でジョブローテーション制度が始まり、6月からは射出成形機も担当しています。今後は生産現場を見て製品の理解を深めたり、輸出規制等貿易に関する専門知識を深めていきたいです。今後も多くの知識を習得し、教える立場になれたらいいなと思います。

Q 働きやすい職場ですか？

A 海外業務課は女性社員が多く、10人中8名が女性です。産休・育休を取っている社員がいるほか、残業も少なく、有給休暇も取りやすいので、女性にとって働きやすい環境だと思います。

海外業務課
鈴木 彩花

株式情報 (2018年6月30日現在)

株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,450,916株
株主数	12,539名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
株主確定日	● 定時株主総会、期末配当金：12月31日 ● 中間配当金：6月30日 毎年3月
定時株主総会 公告の方法 (公告掲載URL)	電子公告により行う https://www.sodick.co.jp/ir-f.html ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	6,477,748	12.12
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,492,300	4.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,151,400	4.03
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,380,000	2.58
古川 利彦	1,195,975	2.24
CHASE MANHATTAN BANK GTSCLIENTS ACCOUNT ESCROW	990,516	1.85
ソディック共栄持株会	887,800	1.66
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
有限会社ティ・エフ	850,000	1.59
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口5)	829,900	1.55

株主名簿管理人 同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座の管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 新東京郵便局私書箱29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部 証券コード：6143

創業者 取締役名誉会長逝去のお知らせ



当社の創業者であり、取締役名誉会長である古川利彦が平成30年7月6日(享年78歳)に永眠いたしました。

ジャパックス(株)在籍中の1965年に世界初の電極無消耗回路を開発、放電加工技術に大きな革命をもたらしました。その後ジャパックスから独立し、76年に(株)ソディックを創業。その後も、困難だと思われていた放電加工機のNC(数値制御)化に成功するなど、常にお客様の声に耳を傾け、「世の中にないものは自分たちで創る」という精神のもと、様々な技術開発を積み重ね、世界のものづくりを支えるメーカーとして当社が飛躍する礎を築きました。

故人が生前に皆様より賜りましたご厚誼に対し、心より御礼申し上げます。

略歴
昭和51年8月
当社設立、取締役社長
平成21年6月
代表取締役会長
平成30年3月
取締役名誉会長